

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和46年以前	根拠法令・例規等	備前市特定疾患医療附帯療養費交通費補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	社会福祉課
	小項目	施策	20	障がいのある人への福祉の充実	課長補佐 春森 弘晃
事務事業名		10	特定疾患医療附帯療養交通費補助事業		このシート作成に要した時間 1.5 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	特定疾患の患者	
目的 (何のために)	特定疾患の患者に対し、受診医療機関への交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	特定疾患の患者に対し、受診医療機関への交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	特定疾患医療附帯療養交通費補助事業	特定疾患についての医療で通院する交通費の一部を補助する。	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	1,991	1,984	1,932
	必要人員件数	人	0.03人	0.10人	0.06人
	事業費	千円	2,110	2,778	2,407
	国県支出金	千円			
受益者負担	千円				
繰入金	千円				
市債	千円				
その他	千円				
一般財源	千円	2,110	2,778	2,407	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
交通費補助件数	説明	交通費補助の決定件数	205	201	198
結果指標量	件		205	201	198
対前年比	%		98.0%	98.5%	98.5%
活動コスト	円		2,110,000	2,778,000	2,407,000
単位当たりコスト	円		10,293	13,821	12,157

事業の成果 (平成25年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
交通費補助件数	目標値 (A)				到達目標値
	実績値 (B)	205	201	198	
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
申請に基づく事業のため、目標値の設定は困難。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度 (H26年度) の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○					
説明	広報等で周知を徹底していく。							

総合評価		総合評価
広報等での周知により申請者の増加に繋がった。今後も継続して対象者への周知を徹底していく。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性			○					
取組目標	市独自の取組で申請者も多いため、現状を継続していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を定める有効性を評価する